

☆¹衆議院議員選挙法(1889. 憲法と同時に公布)

制限選挙…選挙権は、²直接国税15円以上・²⁵歳以上・男子 (被選挙権は30歳以上)
→約45万人 (全人口の³約1.1%) ※大部分は地主

→第1回総選挙[⁴1890]

選挙結果 { ⁵立憲自由党(130) ⁶立憲改進黨(41) …反政府(⁷民党) 過半数
(300) { 大成会(79)、国民自由党(5) …政府側(⁸吏党)

☆政府(藩閥内閣)の方針

①⁹超然主義 …政府(内閣)は議会(政党)に拘束されないという考え方

<例>¹⁰黒田首相の¹¹超然主義演説 ¹²伊藤博文(枢密院議長)も同意見を表明

②軍備拡張路線 1878. 軍人訓戒←竹橋事件(西南戦争後の待遇への不満から近衛隊が反乱)
1882. ¹³軍人勅諭…西周が起草 天皇への絶対服従・政治への不関与を説く
1888. 陸軍の再編…鎮台制から¹⁴師団制(対外戦も可能)へ
1889. ¹⁵徴兵令の改正…兵役免除・徴兵猶予を廃止

→「¹⁶民力休養・¹⁷政費節減」を主張する議会(民党)と対立

⋮地租軽減・地価修正 ⋮人員整理・軍縮など

初期議会と内閣の対決

③
18 山県有朋(I) 内閣 1889.12~91.5. 長州閥

☆¹⁹ 第一議会 (第1回帝国議会 20 1890.11~91.3)

首相演説…「²¹ 主権線」(国境)だけでなく「²² 利益線」(朝鮮)も守るべき→軍備拡張の必要性
議会は政府予算案を拒否→混乱→自由党一部(土佐派)の離反→修正予算成立
中江兆民、抗議の辞職(議会は「腰抜け」「無血虫の陳列場」)

④
23 松方正義(I) 内閣 1891.5~92.7. 薩摩閥 ☆外相 ²⁴ 青木周蔵

☆²⁵ 第二議会 (1891.11~12) …政府の軍艦建造費などの大幅削減要求を否決

海軍大臣 ²⁶ 樺山資紀 の²⁷ 壱勇演説…薩長藩閥の功績を主張 →議会紛糾

現政府は此の如く内外国家多難の艱難を切抜けて、今日迄来た政府である。薩長政府とか何政府とか言っても、今日国の此安寧を保ち、四千万の生霊に関係せず、安全を保つたと云ふことは、誰の功力である。(笑声起る) 御笑に成る様の事ではございますまい。

→政府は衆議院を解散→総選挙(第2回 1892) …²⁸ 選挙大干渉 (死者25人重傷者400人)

→それでも民党優勢(163/300)の結果 …内相(内務大臣) ²⁹ 品川弥二郎

☆³⁰ 第三議会 (1892.5~6) 選挙干渉の責任追及などで紛糾 軍拡予算を再度否決 内閣総辞職

⑤
31 伊藤博文(II) 内閣 1892.8~96.8. 長州閥 ☆外相 ³² 陸奥宗光

「³³ 元勳内閣」…山県(陸軍)、井上馨(内務)、黒田(通信)、後藤(農商務)らの入閣

☆³⁴ 第四議会 (1892.11~93.2) …政府の軍事費増額に対して予算の削減を議決

→(a) ³⁵ 建艦詔勅 (和衷協同の詔書)…天皇が政府と議会の妥協を求める

(b) ³⁶ 伊藤は自由党と接近(超然主義の修正) →自由党、政府に協力 →予算成立

→改進黨、国民協会・大日本協会(吏党)ら6派が反発

政府の条約改正交渉への批判で同調して連合(³⁷ 対外硬派連合)を形成 ※国民意識をあおる

☆³⁸ 第五議会 (1893) 対外硬派、自由党・内閣を攻撃 →政府、議会を解散(12/30) →総選挙(1894/3)

³⁹ 第六議会 (1894/5) 対外硬派と自由党が協調 →政府弾劾上奏案可決 →解散(6/2)

※7/16日英通商航海条約調印 7/25日清戦争開戦 9/1総選挙

⁴⁰ 第七議会 (1894/10/18) 大本營(軍の本部)が置かれた広島で開催

全政党が政府批判を中止、軍事費などを討論なし全会一致で可決

【時代順問題に挑戦】 <2007年B本試験より>

- I ③ 政府は詔勅により、民党の反対を抑え、予算を成立させた。
- II ② 第1回帝国議会では、自由党の一部が予算成立に協力した。
- III ① 民権派の再結集に対して、政府は超然主義の立場を声明した。

日本史授業プリント近代15(087) 初期議会と政府

2年 組 番 _____.

☆1衆議院議員選挙法(1889. 憲法と同時に公布)

制限選挙…選挙権は、2直接国税15円以上・25歳以上・男子(被選挙権は30歳以上)

→約45万人(全人口の3約1.1%) ※大部分は地主

→第1回総選挙[4_____]

選挙結果 { 5立憲自由党(130) 6立憲改進黨(41) …反政府(7_____) 過半数
(300) { 大成会(79)、国民自由党(5) …政府側(8_____)

☆政府(藩閥内閣)の方針

①9_____…政府(内閣)は議会(政党)に拘束されないという考え方

<例>10黒田首相の11超然主義演説 12伊藤博文(枢密院議長)も同意見を表明

②軍備拡張路線 1878. 軍人訓戒←竹橋事件(西南戦争後の待遇への不満から近衛隊が反乱)

1882. 13軍人勅諭…西周が起草 天皇への絶対服従・政治への不関与を説く

1888. 陸軍の再編…鎮台制から14_____制(対外戦も可能)へ

1889. 15徴兵令の改正…兵役免除・徴兵猶予を廃止

→「16_____・17_____」を主張する議会(民党)と対立

⋮地租軽減・地価修正 ⋮人員整理・軍縮など

初期議会と内閣の対決

③
18 _____ 内閣 1889.12~91.5. 長州閥

☆第一議会(第1回帝国議会 201890.11~91.3)

首相演説…「21主権線」(国境)だけでなく「22_____」(朝鮮)も守るべき→軍備拡張の必要性
議会は政府予算案を拒否→混乱→自由党一部(土佐派)の離反→修正予算成立
中江兆民、抗議の辞職(議会は「腰抜け」「無血虫の陳列場」)

④
23 _____ 内閣 1891.5~92.7. 薩摩閥 ☆外相 24青木周蔵

☆第二議会(1891.11~12) …政府の軍艦建造費などの大幅削減要求を否決

海軍大臣 26_____ の 27壱勇演説…薩長藩閥の功績を主張 →議会紛糾

現政府は此の如く内外国家多難の艱難を切抜けて、今日迄来た政府である。薩長政府とか何政府とか言っても、今日国の此安寧を保ち、四千万の生霊に関係せず、安全を保つたと云ふことは、誰の功力である。(笑声起る) 御笑に成る様の事ではございますまい。

→政府は衆議院を解散→総選挙(第2回 1892) …28選挙大干渉(死者25人重傷者400人)

→それでも民党優勢(163/300)の結果

…内相(内務大臣) 29_____

☆第三議会(1892.5~6) 選挙干渉の責任追及などで紛糾 軍拡予算を再度否決 内閣総辞職

⑤
31 _____ 内閣 1892.8~96.8. 長州閥 ☆外相 32陸奥宗光

「33元勳内閣」…山県(陸軍)、井上馨(内務)、黒田(通信)、後藤(農商務)らの入閣

☆第四議会(1892.11~93.2) …政府の軍事費増額に対して予算の削減を議決

→(a) 35建艦詔勅(和衷協同の詔書)…天皇が政府と議会の妥協を求める

(b) 36伊藤は自由党と接近(超然主義の修正) →自由党、政府に協力 →予算成立

→改進黨、国民協会・大日本協会(吏党)ら6派が反発

政府の条約改正交渉への批判で同調して連合(37対外硬派連合)を形成 ※国民意識をあおる

☆38第五議会(1893) 対外硬派、自由党・内閣を攻撃 →政府、議会を解散(12/30) →総選挙(1894/3)

39第六議会(1894/5) 対外硬派と自由党が協調 →政府弾劾上奏案可決 →解散(6/2)

※7/16日英通商航海条約調印 7/25日清戦争開戦 9/1総選挙

40第七議会(1894/10/18) 大本營(軍の本部)が置かれた広島で開催

全政党が政府批判を中止、軍事費などを討論なし全会一致で可決

【時代順問題に挑戦】 <2007年B本試験より>

- I 政府は詔勅により、民党の反対を抑え、予算を成立させた。
- II 第1回帝国議会では、自由党の一部が予算成立に協力した。
- III 民権派の再結集に対して、政府は超然主義の立場を声